

福生市議会

FUSSA

だより

No.198

発行 福生市議会
平成27年7月25日

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042 (551) 1511 (代表)
☎042 (551) 1523 (ダイヤルイン)

平成27年 第2回定例会

改選後の初定例会が行われました 「CV-22オスプレイの横田基地への配備に 対する決議」を全会一致で可決

本会議の経過

平成27年第2回定例会は、6月9日から26日まで会期18日間で開催され、15名の議員による一般質問が行われ、条例改正、一般会計補正予算など市長提出議案6件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件、陳情2件が審議されました。

▼1日目(9日)は、一般質問の通告人数や通告時間、議案を付託する委員会の開催日等を考慮して、定例会の会期を18日間と決定しました。続いて、委員会提出議案「CV-22オスプレイの横田

▼3日目(11日)は、5名の議員が一般質問を行いました。

▼4日目(12日)は、市長提出議案3件、議員提出議案1件及び陳情2件が所管の委員会に付託され、福生市表彰条例に基づく自治功労表彰1件及び一般表彰1件並びに新たに提出された「福生市教育委員会委員の任命について」は、委員会への付託は省略され、原案のとおり同意することに決まりました。

▼5日目(26日)は、最終日で、委員会へ付託された市長提出議案3件は委員長報告の後、原案のとおり可決し、また、議員提出議案1件は否決とし、陳情1件を不採択、その他陳情1件については、継続して審査することとなり、今定例会を終了しました。

委員会提出議案第3号「CV-22オスプレイの横田基地への配備に対する決議」について、平成27年5月11日、米国防政府から日本政府に対して接受国通報があったとの連絡が、防衛省北関東防衛局から福生市にあった。同月12日及び15日には、外務省及び防衛省の担当者が福生市に来庁し、平成33年までに計10機のCV-22オスプレイを横田飛行場に配備し、そのうち最初の3機を平成29年の後半に配備する計画がある旨、また、CV-22オスプレイの横田基地への配備の理由、その安全性、訓練・騒音などについて説明が行われた。横田基地は、人口が密集した市街地に所在しており、かねてより航空機騒音に悩まされ、また、航空機の部品落下といった人命にかかわる事故への懸念などからも、周辺住民の日常生活での不安が続いている。福生市議会では、平成25年7月のCV-22オスプレイの横田基地配備検討報道に対し、同年9月26日付けで、「CV-22オスプレイの横田基地配備検討の撤回を求める意見書」を防衛大臣、外務大臣、防衛省北関東防衛局長に提出し、政府が米国防政府に対し、CV-22オスプレイの米軍横田基地への配備検討の撤回を強く働きかけるよう求めている。そのような中で、今回、CV-22オスプレイの横田基地への配備が突然発表されたことは、誠に遺憾であり、これ以上の基地機能強化は認められない。さらに、平成27年5月18日には、MV-22オスプレイが米ハワイ州において着陸に失敗し、死亡者及び負傷者を出したとの報道があり、市民の安全性への懸念は大きくなっている。よって、福生市議会は、政府に対し次の事項を強く求める。

- 1 さらなる具体的な説明を行うこと。
- 2 米国防政府に対し、CV-22オスプレイの米軍横田基地への配備計画の再検討を強く働きかけること。

平成27年6月9日

福生市議会



▲新たな議会がスタート



▲福生ほたる祭は50回を迎え記念碑が設置されました

可決された案件 (要旨)

◎全員賛成 ▼賛成多数

◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険法施行令の一部改正に伴い、平成27年度及び28年度の介護保険料の減額賦課に係る第1号被保険者の保険料を3万1300円と定めるもの。

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)

介護保険法改正による低所得者の保険料軽減、市内小・中学校の東京都委託事業推進校の指定などに伴い、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6924万5千円を追加し、総額をそれぞれ228億1924万5千円とするもの。

歳入では、国庫負担金480万円は、介護保険法改正による低所得者の保険料軽減実施の国庫負担。都負担金240万円は、介護保険料軽減実施の都負担分。都補助金2859万8千円は、消費者行政推進交付金。委託金1744万7千円は、

①オリンピック・パラリンピック教育推進校事業委託金200万円

②小学校外国語活動アドバイザー活用事業委託金140万円

③安全教育推進校事業委託金20万円

④人権教育推進校事業委託金35万7千円

⑤学力ステップアップ推進地域指定事業委託金1199万円

⑥日本の伝統・文化理解教育推進事業委託金150万円の6件。

寄附100万円は、東京福生ライオンズクラブ、東京福生ライオンズクラブからの寄附金。諸収入1500万円は、コミュニティ助成事業助成金で、志茂第二町会の陸会館建設に伴う助成金。

歳出では、総務管理費36万円は、ライオンズクラブ、ライオネスクラブからの寄附金を活用し、

市役所来庁者用車椅子を3台購入する。社会福祉費960万円は、介護保

険法改正による低所得者の保険料軽減分を国が2分の1、都が4分の1、市が4分の1公費で負担するもので、これを合わせ一般会計から介護保険特別会計へ繰り出すもの。

市議会議員として貢献された大野悦子氏が福生市表彰条例第3条第1項第2号に該当するため、自治功労表彰するもの。

福生市表彰条例第4条第1号の該当者13名、同条第3号の該当者2名を表彰するもの。

第1号該当として、市議会議員として貢献された柳川英司氏、町会長等として貢献された野島康好氏、上野昌平氏、橋爪賢治氏、笹本誠一氏、清水誠二氏、榎本博人氏、

井梅泰雄氏、国民健康保険運営協議会委員として貢献された石川好男氏、交通安全推進委員会委員として貢献された荒品祐次氏、大野裕氏、町会長、消防団員及び国民健康保険運営協議会委員として

貢献された石川恵一氏、平野裕子教育委員の任期満了に伴い、同氏を再任することに同意するもの。

福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

福生市表彰式で表彰された方々



▲福生市表彰式で表彰された方々

討論

●集团的自衛権行使容認を柱とする安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書

■賛成

市民の関心を十分に尊重し、これにこたえる立場から、超党派で慎重審議を求めるとは、議会の総意として取り組むべき課題と考える。与党は国民の声に耳を傾けること、丁寧で慎重な議会運営、一方的な強行採決はしない約束などを求める意義は大きく、賛成する。

■反対

憲法の範囲内で必要な法整備をするのは政府与党の責務である。法案は政府提案に対し、国会で議論がなされ、民主的に行われている。今回の法整備は、国民の生命と国家の安全を守るためのもので、平和国家の原則と法的安定性は全く揺らいでおらず、反対する。

■賛成

衆議院憲法審査会で三人の憲法学者が集团的自衛権行使は違憲と発言した。この上程され

福生市教育委員会委員の任命について



福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

福生市教育委員会委員の任命について

「議会誌」

▼4月	3日 東京都市議会議長会 監事会	2日 横田基地対策特別委員会
10日 議会運営委員会	9日 第2回定例会1日目 全員協議会	10日 第2回定例会2日目 議会運営委員会
15日 東京都市議会議長会 理事会・臨時総会	16日 建設環境委員会	17日 市民厚生委員会
24日 例月出納検査	18日 総務文教委員会	19日 横田基地対策特別委員会
▼5月	1日 代表者打合せ	11日 第2回定例会3日目 議会運営委員会
8日 初当選議員打合せ	12日 第2回定例会4日目	13日 建設環境委員会
12日 全議員打合せ	14日 第1回臨時会(初議会)	15日 定期監査
15日 定期監査	16日 初当選議員研修会 (21日まで)	17日 財政援助団体等監査 全員協議会
19日 三多摩地区消防運営協議会役員会・総会	18日 東京都市議会議長会 理事会・定例総会	23日 議会運営委員会 別委員会
22日 三多摩地区消防運営協議会役員会・総会	24日 例月出納検査	26日 第2回定例会5日目 全員協議会
26日 東京都市議会議長会 理事会・定例総会	27日 関東市議会議長会定 期総会	28日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理 事会・総会
29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会理 事会・総会	30日 初当選議員研修会	

陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、不採択となった陳情は次のとおりです。
○「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書の提出を求める陳情書 (不採択理由)
自衛隊が他国軍への軍事支援を行うことを可能とするような法案とは考えられず、意に沿いがたい。



福生第一小学校学童クラブの扶桑会館利用について

田村 正秋 議員

質問 一小的学童クラブは主に武蔵野台児童館で対応だが、学校から移動が必要で遠距離帰宅の児童もいるため、扶桑会館を利用できないか。

学童クラブを継続したい。

市長 児童館併設の学童クラブは、児童館事業と学童保育事業を同じ施設で実施することで多様な遊びと学習が体験できるメリットがある。また、扶桑会館は地域での利用が増えている。在籍児童の8割強は青梅線より東側在住だが、学童クラブでは移動や帰宅の際の交通安全、不審者対応指導を繰り返し行っている。児童育成にメリットが多い児童館での



▲地域での利用が増えている扶桑会館

一般質問 (要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。質問方式は3種類の選択制で、一括方式、一問一答方式、併用方式（一括と一問一答の併用）のいずれかを議員が選択し、質問しました。

概略の掲載は一問とし3ページから5ページまでに掲載しました。一般質問の項目は6ページにすべて掲載してあります。詳しくは、8月下旬発行予定の会議録を市役所情報コーナー及び図書館でご覧いただくか、福生市ホームページからご覧ください。

多様な配食サービスで高齢者に食の安心を

青木 健 議員

質問 在宅高齢者への配食サービスでは、通常食だけでなく介護食や病気療養食なども必要だ。市は多様なニーズにどう取り組んでいくのか。



▲高齢者配食サービスとメッセージカード

市長 市では、社会福祉協議会に委託し、在宅で調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事を届けて安否確認を行う高齢者配食サービス事業を実施している。

特別対応食が必要な場合は、民間の配食サービスの情報提供をし、訪問介護ヘルパーによる対応もある。

平成29年4月に開始する日常生活総合支援事業の中で考えたい。

横田基地へのオスプレイ配備に対し市長の考えは

乙津 豊彦 議員

質問 横田飛行場へのオスプレイ配備が突然発表された。地元自治体責任者として市長はどう考えるか。

強く国へ働きかけたい。

市長 市は日米安全保障条約に基づく基地の運用には様々な問題を抱えつつも協力してきたが、これ以上の基地機能の強化は容認できないとし、オスプレイの配備も行わぬよう5市1町を通じ国に要請してきた。今回、国からは事前に何も知らされず、報道後の説明も十分ではなかった。市民の安全・安心の確保は最優先事項であり、十分な説明を求め5市1町と協議し、また、市としても



▲着陸態勢に入るオスプレイ

認可保育所への入所ニーズに対し今後の展望は

武藤 政義 議員

質問 出生数の推移に対し、認可保育所の保育の需要と供給はどうか。課題にどう対応していくのか。

提供体制確保を考えたい。

市長 この数年、出生数は大きく変わらないが1歳児の入所希望が増加しており、これは母親の就労割合が高くなった影響と思われる。育児休業明けの1歳児の保育ニーズに対応する定員確保が必要で、0～2歳児対象の小規模保育事業の新設や、認可保育所と相談し分園設置等も検討していく。福生市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理を行う中で、利用者の動向等の把握に努め、保育



▲子ども・子育て支援事業計画

通学の安全・安心に防犯カメラをどう活用するか

町田 成司 議員

質問 通学路での不審者や交通事故を減らす安全・安心対策として、防犯カメラをどう活用する計画か。

したいと考えている。

教育部長 通学路の見守り体制整備として防犯カメラの設置は、不審者や犯罪の抑止に有効な対策と考える。カメラは学校及び保護者の要望に沿うよう、また福生警察署とも協議を行い周辺住民の理解を得た上で、プライバシーにも配慮して設置したい。今年度は10台、平成28年は15台、29年度は10台の設置を計画している。万一、犯罪や事故が発生した場合は、カメラの記録映像は捜査機関に提供



▲雨の日の登校の様子

平成27年 第2回定例会本会議の概要

- ・インターネット議会中継閲覧数 (6月9日～6月26日) 延べ427件
- ・傍聴者数 延べ76名

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映しています。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。

次回定例会のお知らせ

◎傍聴におでかけください。

平成27年第3回定例会は、9月1日(火)から9月29日(火)までを予定しています。

- ◆本会議 (予定) 午前10時開会
9月1日(火)～9月4日(金)及び9月29日(火)
- ◆決算審査特別委員会 (予定) 午前9時30分開会
9月8日(火)～11日(金)
- ◆常任委員会 (予定) 午前10時開会
9月15日(火)～17日(木)

※本会議・委員会は傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ふるさと納税への取り組み強化について

堀 雄一朗 議員

質問 インターネットサイトに返礼品を掲載する自治体が増えるなど、ふるさと納税がブームになっている。当市での取り組みの状況を伺いたい。

市長 ふるさと納税は、魅力ある特産品を返礼品とすることで寄附意欲を喚起させているので、返礼品の選定は非常に重要であり、選定については福生市商工会その他関係団体の協力を得る必要がある。また、クレジットカード決済等、簡単な手続きが寄附喚起を促すので、現在、インターネットサイトの運営会社とも情報交換し、総合的に費用対効果が

得られるような形を模索している。



▲福生市公式HPふるさと納税のPRページ

福生市版総合戦略をどう考えていくのか

清水 義朋 議員

質問 少子化・人口減少の一方、人口の東京一極集中がある。この中で福生市版総合戦略をどう考えるか。

市長 国は、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立に向け、中・長期の人口ビジョンと、短・中期の政策目標設定を求めている。5カ年の福生市版総合戦略を今年度策定する。人口動向分析等から年齢3区分別など2060年までの人口展望を描き、それを踏まえて基本目標や施策の体系化を行う。他市に先駆けた定住化対策である新5G施策をもとに、基本

目標と施策を設定し実施したい。



▲内閣府で発行した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

多摩川護岸工事中断の経緯と対応について

杉山 行男 議員

質問 多摩川の護岸工事が行われているが、有害物質の検出があったと聞く。経緯と今後の予定を伺う。

市長 平成26年度の工事で大量の埋設廃棄物が出て基準値を超えるダイオキシンを確認したため、廃棄物処理を行ったと国土交通省から報告があった。さらに下流側にも廃棄物があるが、その処理は予算確保後に行うため実施年度は未定である。未処理箇所には柵を設置し、水質調査も実施する。市は、多摩川中央公園の土壌調査をしたが、安全性に問題はなかった。廃棄物の早期処理と工

事の早期完成を要望したい。



▲多摩川中央公園付近の護岸工事の様子

町会・自治会の合併で地域コミュニティの存続を

佐藤 弘治 議員

質問 少子・高齢化の中、町会・自治会への加入率減少に歯止めがかからない。存続のため合併の動きもあるが、市はどう考えているか。

市長 合併は、地域の連携強化やスケールメリットにより組織基盤が強化され、安定した町会・自治会運営につながる点から期待している。

4月に発足した本町町会でも、合併協議には市の担当課が同席してきた。各種行事など町会間での歴史や文化の違いも含めて円滑に運営していくには、時間と両者の交流促進が必要と思われる。行政としても支援

をしたい。



▲ふれあいフェスティバルで町会・自治会の加入促進をPR

横田基地の機能強化に対し市長の考えは

三原 智子 議員

質問 CV-22オスプレイ配備など日米の軍事的連携強化の動きは住民不安を増幅している。横田基地の機能強化反対の考えを改めて伺う。

市長 市では、これまで横田基地運用に協力しつつも、国に対しては基地機能のさらなる強化や態様の変化、またオスプレイの配備は容認できない旨、5市1町と共に強く要請してきた。今回の配備報道は事前に何も知らされず誠に遺憾だが、まずは十分な説明を聞くことが必要である。その上で、5市1町で協議し対応を図るとともに、市としても国に

対して強く働きかけたい。



▲横田基地第5ゲート

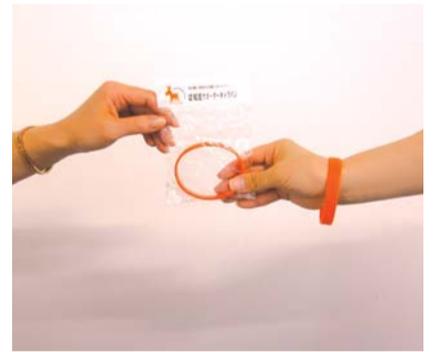
地域包括ケア実現に向け認知症サポーターの養成を

幡垣 正生 議員

質問 統計では認知症サポーターの割合が低い福生市だが、意欲を持つ市民も多いと思う。養成講座の開催計画、社会福祉協議会への働きかけを伺う。

市長 養成講座は、市民には出前講座により開催し、法人向けも実施している。出前講座のメニューのほか、担当職員出席の会議などでも広報しているが、平成27年度は、社会福祉協議会実施の夏体験ボランティア事業の中で、次世代の子どもへのテキストを活用し養成講座を実施する計画である。今後も、社会福祉協議会と連携

しサポーターの増員に努めたい。



▲認知症サポーターのオレンジリング

第65回 福生七夕まつり 8/6(木)~8/9(日)



昨年の七夕まつり民踊パレードに参加風景

今年も民踊パレードに参加します!

歩行者と自転車・自動車との共存道路の整備を

原田 剛 議員

質問 歩車共存道路の整備により歩行者の安全対策が図られ、車の減速効果も明白だが、わらつけ街道も同様に整備できないか。

都市建設部長 わらつけ街道は小学校の通学路でもあり、カラー舗装や路面標示などの安全対策を施しているが、老朽化している。昨年度の路面性状調査、今年度実施予定の路面下空洞調査や道路構造物の調査結果を踏まえ、市道全体の維持管理・補修計画を作成していくが、その中でわらつけ街道の整備も位置づけたい。

整備に当たっては警察と協議し、

適切な交通安全対策を実施したい。



▲通学路の市道幹線II-4号線（わらつけ街道）

青パト運用では市民団体との協働を

五十嵐 みさ 議員

質問 公用車の青色回転灯装備パトロールカー運用開始に当たり、市民団体等と協働すべきと考えますが、どうか。

市長 市内各地域でさまざまな団体が自主的な防犯パトロールを実施してくれている。防犯には地域住民の見守りが大変重要であり、市の青パト巡回と連携すればさらに犯罪抑止効果が期待できる。市民に防犯機運が高まっていることは大変ありがたい。市民団体等への青パト公用車の貸出しは現状で難しい面もあるが、先行して実施している自治体の例も

あり今後支援について研究したい。



▲市で運用している青色回転灯装備パトロールカー

「オスプレイ」の安全性を問う

奥富 喜一 議員

質問 世界一危険な欠陥機とも言うCV-22オスプレイの安全性について、市はどう認識しているのか。

市長 国は、CV-22とMV-22の安全性は同等と説明し、米国はCV-22の日本での訓練・運用に当たっては既存の日米合意の遵守を明言している。5月にMV-22の着陸事故が起きたが、CV-22の安全性については今後も国に十分な説明を求めていく考えである。

企画財政部長 国からは、米国に対しさらなる情報提供を求め、情報が得られた場合には丁寧に誠意をも

って説明すると聞いている。



▲オスプレイが飛来する横田基地上空

安全保障関連法案は福生市民の安全を脅かさないか

池田 公三 議員

質問 集団的自衛権による武力行使はテロ等を招き、出撃・訓練基地の性格が強まり、市での騒音被害や事故のおそれも高まるのでは。

市長 国の専管事業であるので、私からお答えすることは、できない。

企画財政部長 市民は騒音に悩み、事故の懸念など不安が続いている。米軍と国に、安全確保を徹底し細心の注意を払うよう求めるとともに、周辺5市1町や都と連携し、情報収集に努めている。

国には情報提供と安全確保の徹底を強く要請し、市民の不安を払拭す

べく全力で取り組みたい。



▲市役所屋上での騒音測定

ご利用ください!! 「インターネット議会中継」

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけると思います。「市民に開かれたわかりやすい議会」を一層推進するため、積極的に議会情報をお届けしていきたいと考えておりますので、ぜひご利用ください。

◆配信内容

本会議のライブ映像と録画映像

※録画映像は、過去の会議を会議名や議員名、用語などで検索してご覧いただくことができます。

◆アクセス方法

福生市公式ホームページ(<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)にアクセスして「福生市議会」→「インターネット中継」の順にクリックしてください。

請願・陳情の提出方法

市議会は、市政等に対する皆様の要望を「請願」や「陳情」としていつでも受け付けています。9月定例会では、8月31日までに提出された請願・陳情を審査します。

◎請願

市議会議員の紹介が必要です。議会に出された請願は、所管の委員会に付託の上、審査されたのち、本会議で採択・不採択が決められます。採択された請願は関係者（市長、その他関係機関等）に送付します。

◎陳情

市議会議員の紹介は必要ありません。市議会における審議等の扱いは、請願と同様です。

◎請願（陳情）の書き方

- ① 題名
 - ② 紹介議員の署名（陳情書の場合は不要）
 - ③ 請願（陳情）趣旨
 - ④ 請願（陳情）事項
 - ⑤ 提出年月日
 - ⑥ 宛先（福生市議会議長）
 - ⑦ 請願（陳情）者の住所、氏名、押印、連絡用の電話番号
- ※請願及び陳情は郵送ではなく持参してください。

〇〇に関する請願書（陳情書）

紹介議員

※陳情書には紹介議員の記載は不要です

請願（陳情）趣旨

.....

.....

請願（陳情）事項

1.

2.

.....

平成 年 月 日

福生市議会議長

様

請願（陳情）者

住所

氏名

連絡先の電話番号

㊞

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」の皆さんにご協力いただき、市議会だよりの音訳をデジター方式のCDにして、視覚障害者（1・2級）の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いの方で、ご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局にご連絡ください。

☎042-551-1523

○デジター（DAISY）とは

デジタル録音図書国際標準で、聴きたいところをすぐに検索できるなど、情報検索性に優れています。

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。（利用者一割負担）

平成27年 第2回
福生市議会定例会

一 般 質 問

通告者の下欄に質問方式を表示しています。

質問方式は、一括方式、一問一答方式あるいは併用方式(一括と一問一答の併用)の選択制となっています。

(通告順に掲載)

通告者	質問内容	通告者	質問内容
① 乙津 豊彦 (一問一答)	1 米軍横田飛行場へのオスプレイ配備について (1)国からの説明及び現在までの対応について (2)市長の考え方について (3)今後の対応について	⑨ 堀 雄一郎 (併用)	1 新公会計制度について (1)進捗状況について (2)新公会計制度導入へ向けた研修等について (3)予算・決算での新制度導入スケジュールについて 2 ふるさと納税について (1)ふるさと納税の拡充について (2)現状について (3)取り組みについて
② 町田 成司 (一問一答)	1 町会・自治会活動及び運営について (1)町会・自治会加入状況について (2)自主防災について 2 教育行政について (1)通学路の安全対策について (2)小学校の統廃合について 3 人口減少問題について (1)空き家対策の現状について	⑩ 杉山 行男 (併用)	1 多摩川護岸工事について (1)工事中断の経緯と対応について 2 教科用図書採択について (1)中学校平成28年度使用教科用図書採択について (2)4年前の教科書採択と今年度の採択事務についての違いはあるか
③ 田村 正秋 (一括)	1 土木行政について (1)富士見通りの整備と今後の整備計画等について 2 東福生駅の整備について (1)東福生駅のバリアフリーと自転車駐車場等の整備について 3 学童クラブについて (1)福生第一小学校学童クラブの扶桑会館利用について 4 ガーデニングのあるまちづくりについて (1)他市で導入しているガーデニングのあるまちづくりについて 5 小学校・中学校の安全対策について (1)校庭の照明灯におけるからすの巣の対応について	⑪ 三原 智子 (一括)	1 横田基地の機能強化について (1)機能強化に反対する姿勢について (2)市民への情報発信について 2 学校教育における食育の意義と児童生徒の健康について (1)食育の基本的な考えについて (2)小・中学校における食育の進め方について 3 学校支援地域組織について (1)現状について (2)導入後の成果について
④ 青木 健 (併用)	1 高齢者の食の安心の確保について (1)高齢者配食サービスについて (2)高齢者配食サービスの対象者の拡充について (3)災害時における対応について 2 多摩川緑地福生加美上水公園の活用について 3 健康ふっさ21の取り組みについて (1)取り組みの状況について (2)健康遊具・運動遊具の設置について	⑫ 五十嵐 みさ (一問一答)	1 安全安心まちづくりについて (1)安全安心まちづくり施策の進捗について (2)青色回転灯装備パトロールカー(青パト)の運用について (3)青色回転灯装備パトロールカー(青パト)運用の市民団体との協働について 2 教育行政について (1)福生市の特別支援教育について (2)福生市特別支援教育アクション20の取り組みについて (3)インクルーシブ教育について
⑤ 武藤 政義 (一括)	1 認可保育所について (1)認可保育所の入所状況と待機児童の状況について (2)今後の展望について 2 市営住宅について (1)市営住宅の存在意義について (2)入居の状況について 3 学校給食について (1)食材の選定について (2)安全に給食を提供するための対策について	⑬ 池田 公三 (一問一答)	1 集団的自衛権行使容認を柱とする安全保障関連法案による福生市への影響について (1)安全保障関連法案が横田基地の機能強化につながる恐れ (2)安全保障関連法案が福生市民の安全を脅かす恐れ 2 学校給食費を無料化することについて (1)総合教育会議で、学校給食費無料化の可能性を議論することについて (2)教育委員会で、学校給食費無料化の可能性を議論することについて (3)学校給食費無料化と受益者負担の適正化について
⑥ 清水 義朋 (一括)	1 地方版総合戦略について (1)福生市の総合戦略について (2)策定ツールについて 2 オープンデータについて (1)行政情報のオープンデータ化について 3 英語教育について (1)福生市の英語教育について	⑭ 原田 剛 (併用)	1 オスプレイの配備について (1)現状及び対応、安全性について 2 学童クラブについて (1)現状及び将来の対応について (2)保育時間について (3)放課後子ども総合プランについて 3 福生市プレミアム付き商品券発行事業について 4 道路の安全対策について (1)歩車共存道路について (2)自転車ナビマークについて
⑦ 佐藤 弘治 (一括)	1 町会・自治会について (1)現状と課題について (2)合併について 2 コミュニティ・スクール制度導入について (1)本制度の導入の意義や、導入の基本方針等について	⑮ 奥富 喜一 (一問一答)	1 横田基地へのオスプレイ配備について (1)オスプレイは世界一危険な欠陥機について (2)住宅密集地、横田基地への配備の危険について (3)日本の航空法等について (4)なぜ危険な低空飛行訓練が必要なのかについて (5)横田エリアについて、他 2 墜落と騒音被害の危険を全国に拡大することについて (1)日本中がオスプレイの訓練場になることについて (2)MV-22オスプレイとCV-22オスプレイの違いについて 3 「横田基地配備撤回が当然」の取り組みについて
⑧ 幡垣 正生 (一括)	1 地域包括ケアの実現に向けて (1)二次保健医療圏8市町村の連携と現行事例等について (2)認知症サポーターの養成及び今後の計画並びに社会福祉協議会への働きかけについて (3)特定健康診査法定項目とがん検診の現状について 2 東福生駅周辺のバリアフリー化について 3 ジュニアスポーツの育成と福生市のスポーツ推進について (1)国体、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての考え方並びにジュニアスポーツの指導者育成、環境整備及びスポーツ傷害等の教育について		

委員会の審査から

建設環境委員会

6月16日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(歳出予算のうち建設環境委員会所管分)

問 塵芥処理費の財源振替の内容は。

答 歳入でコミュニティ助成事業助成金1500万円を増額補正があり、これを総務費の諸費の会館建設費に充当することから、もともとの財源である東京都町村総合交付金のうち、1200万円を塵芥処理費のリサイクルセンターの修繕料への充当に振り替えた。

問 消費者啓発事業委託

今定例会の常任委員会では、本会議から付託された議案の審査が6月16日、17日、18日の3日間、建設環境・市民厚生・総務文教委員会の順で行われました。なお、総務文教委員会については、議案の関係で23日にも開催されました。

また、議会運営委員会は、本会議の議事日程や議案の取扱い、議会だよりの編集等で6回行われました。

それから、横田基地対策特別委員会、議会改革に関する特別委員会が6月26日に行われました。

ここでは、各常任委員会及び各特別委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

料の内容は。
答 今年度は恒常的にかわりのある民生委員、包括支援センターの職員、介護事業者の方々を対象に、振り込め詐欺防止の啓発といった研修会を行っていききたい。

市民厚生委員会

6月17日に委員会が開催され、視察後3件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。

問 録音機、備品購入費の内容は。



▲東京都より譲渡された自動通話録音機

答 特殊詐欺の被害から市民の方々を未然に守るということから、自動通

話録音機を購入し希望者に貸与をしていく。

6月17日に委員会が開催され、視察後3件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。

◎福生市介護保険条例の一部を改正する条例

問 通常、条例の施行は4月1日だが、この時期に条例改正をするのはなぜか。

答 平成27年度の政府予算案編成過程において、具体的な軽減幅は1月に示されたが、根拠となる法律の施行が4月からと年度をまたいだので、今議会でも改正することになった。国からは、3月議

会でも多段階化、軽減強化を共に条例改正する方法

3月議会で多段階化のみを可決し、軽減幅については6月議会で条例改正する方法を提唱している。

問 介護保険特別会計繰出金の財源が特定財源と一般財源に分かれているが、繰出しのルールはどの様になっているか。
答 軽減負担分については国が2分の1を負担し、残りを都と市で4分の1ずつ負担する。制度改正の話があった当初は第一段階から第三段階までの低所得者層の軽減を対象としていたが、消費税増税が見送られたため、第一段階のみとなり、軽減幅については、0・05を越えない範囲で市町村が設定する。また、特別会計への繰出しは、国・都及び市の軽減負担分を一般会計から特別会計へ繰り出すものである。

6月17日に委員会が開催され、視察後3件の議案を審査し、原案のとおり可決しました。

6月議会で対応する保険者が9、未定が4保険者である。

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)

問 地域包括支援センター熊川を視察



▲地域包括支援センター熊川を視察

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(歳出予算のうち市民厚生委員会所管分)

問 介護保険特別会計繰出金の財源が特定財源と一般財源に分かれているが、繰出しのルールはどの様になっているか。

答 軽減負担分については国が2分の1を負担し、残りを都と市で4分の1ずつ負担する。制度改正の話があった当初は第一段階から第三段階までの低所得者層の軽減を対象としていたが、消費税増税が見送られたため、第一段階のみとなり、軽減幅については、0・05を越えない範囲で市町村が設定する。また、特別会計への繰出しは、国・都及び市の軽減負担分を一般会計から特別会計へ繰り出すものである。

◎平成27年度福生市一般会計補正予算(第1号)

問 市が負担する一般財源は、どの項目から出されるのか。

答 市の負担分は予備費から繰り出されるので、本来なら、市の負担分が軽減されてそのまま充当されるが、今回はその他にも特定財源として歳入されている関係から、予備費が増額となっている。

◎平成27年度福生市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 一般会計補正予算(第1号)で繰り出された金額を介護保険特別会計へ繰り入れることにより補正予算が組まれた。

答 平成25年度から、市が単独で実施していた日本の伝統文化理解教育推進事業は、27年度については東京都教育委員会が委託事業として実施することとなった。

総務文教委員会

6月18日と23日に委員会が開催され、議案2件(うち1件は議員提出議案)と2件の陳情を審査しました。

市長提出議案(補正予算)を可決し、議員提出議案は、否決しました。また、陳情1件は不採択とし、他1件は、継続して審査することになりました。

◎平成27年度一般会計補正予算(第1号)(歳入予算全般及び歳出予算のうち総務文教委員会所管分)

問 コミュニティ助成事業補助金の収入の内容と、用途は。

答 一般会計法人自治総合センターからの補助金で、前年度に申請し、交付決定を受けたもので、町会会館の建替えに補助する。

問 日本の伝統・文化理解教育推進委託料の金額が増えたのはなぜか。

答 平成25年度から、市が単独で実施していた日本の伝統文化理解教育推進事業は、27年度については東京都教育委員会が委託事業として実施することとなった。

答 当初は、予算額を40万円計上していたが、110万円を補正予算として計上し、東京都の委託金の上限である150万円とした。

問 市民からの寄附をどのように活用するのか。

答 寄附者の意向に沿い、福祉関係で、庁舎内の椅子3台と教育関係でテント5張りを購入する予定である。

問 学力ステップアップ推進地域指定事業委託金について内容を伺う。

答 市では、今までも独自に学力向上対策に取り組んできたが、今回、東京都の新しい事業として、指定されたもので、教員の指導力向上に向けた研修等の取り組みや、児童生徒の基礎学力の定着に向けて、外部指導員を活用し放課後や土曜日、長期休日等に算数、数学の補習を行う予定である。

問 オリニピック・パラリンピック教育推進事業は、今回新たに4校が指定され、7校になったが、各学校からの要望か。

答 今回、東京都が指定校を増やしたので、各校の意向を調査し、申請

したところ、全てが指定されたものである。

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

議案、市民等から提出された陳情の取扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

特別委員会活動から…

議会改革に関する特別委員会

6月19日に委員会が開催されました。第1回目
の委員会ということで、本
委員会の付議事件である
「議会情報の発信及びタ
ブレット端末導入に関す
る調査研究を行うこと」
について、各委員からの意
見を求めました。主な意
見は次のとおりです。

1. 議会情報の発信について
・議会報告会を行っている
議会があるが、それがどの
程度市民に受け入れられ
ているのかを調査したい。
・議会報告は議員個人で
やるのが望ましい。議会と
しての議会報告には限界
があると思う。
・議会だよりについては先
進的な取り組みをしてい
る議会があるので、勉強し
ていくべきだと思う。
・議会の採決において、ど
の会派が賛成か、反対か、
その理由などを議会だより
で発信するべきだと思う。
・議会だよりを身近なも
のにするために、見やすく
分かりやすくする工夫を
していくべきだと思う。
2. タブレット端末導入
について
・全国に29の議会がタブレ
ット端末を導入し、先進
的な取り組みをしている
ので、視察に行って研究し
たい。



▲タブレット端末導入について調査研究を

・タブレット端末を導入し
た場合、タブレット端末を
使って議会の情報を発信
できるのか、調査研究して
いきたい。
・タブレット端末の導入を
議論する前に、ペーパーレ
スの取り組みを先に進め
るべき。各議員がノートパ
ソコンを用意し、今まで配
付されていた紙の資料を
デジタルデータでもらう
だけで大幅な経費削減に
なる。福生市独自の環境
マネジメントシステム「F
ie」の観点からも、でき
る人から始めていくべき
だと思う。

・ペーパーレスが絶対的に
良いということではなく、
最低限のことは紙の資料
として残すレスペーパーと
いう取り組みをしている
ところもあるので、紙の良
さをしっかりと確認して
いきたい。
・便利だけれど危険性も
あるので、セキュリティの
ことなども勉強したい。
・タブレット端末導入には、
ペーパーレスの効果と、検
索できる効果があるので、
その辺を調査したい。
・紙の資料が非常に多いの
で、ペーパーレスという観
点からタブレット端末は
ぜひとも導入していただ
きたい。

横田基地対策特別委員会

6月19日に委員会が開
催され、横田基地に関す
る4件の議題について審
査しました。

1. 平成26年度防衛補助
事業実施状況について
民生安定施設補助事業
として、市道幹線Ⅱ-19
号線外1改良事業、玉川
上水緑地日光橋公園等整
備事業、消防ポンプ自動
車更新事業の3件に
5231万5千円の充当。
特定防衛施設周辺整備
調整交付金事業について
は、消防団車庫改良事業、
わかたけ会館改良事業、
消防ポンプ自動車更新事
業に直接充当。小学校給
食用設備改良事業、中学
校給食用設備事業、市民
会館指定管理委託事業に
ついては、基金へ積み立
てをしたことの報告があ
りました。
2. 平成28年度防衛補助
事業概要要望について
民生安定施設補助事業
として、防災食育センタ
1（災害時対応施設）整
備事業と市道幹線Ⅱ-19
号線外1改良事業（最終
年度）について報告があ
りました。
3. 横田基地周辺対策等
要望事項（案）について
7月22日に委員会の全

委員による防衛省及び北
関東防衛局への要請行動
を行うこととし、要望事
項案について協議しまし
た。次の8項目を委員会
として要望することに決
定しました。

- ①横田基地に関する在日
米軍の再編に係る対応に
ついては、CV-22オ
スプレイの配備発表もあ
り、具体的な説明や配備
計画の再検討を働きかけ
るよう求めることなど。
- ②平成28年度防衛補助事
業の要望について。
- ③横田基地周辺対策及び
基地交付金、調整交付金
予算等の充実についてで
は、自衛隊施設について
も米軍との共同使用に鑑
み、米軍施設と同様に基
地交付金の対象資産とし
て予算確保をされるよう
支援を求めることなど。
- ④横田基地の運用に伴う
安全確保の徹底では、航
空機の運用に当たって安
全確保の徹底、五日市街
道の拡幅事業に併せ信号
機設置を求めているが、
相当の時間を要する状況
にあることから先行して
信号機設置を求めること
など。
- ⑤米空母艦載機による着
陸訓練の全面中止につい
て。
- ⑥騒音防止対策の推進に
ついては、基地周辺で
の低空飛行訓練について
市民生活への影響が出な
いよう配慮を求めること
など。
- ⑦在日米軍の事件・事故
に関する確かな情報提供
について。
- ⑧基地の外における軍人
等の法遵守、マナーの向
上については、夜間、
基地へ帰る際など近隣住
民に迷惑をかけることが
ないように指導・教育を
徹底するよう要請される
ことなど。

3月25日から6月24日
まで、次の事項について
報告がありました。

- ①横田基地有志によるボ
ランティア活動。市内の
公園清掃や「花いっぱい
運動」への参加など。
- ②人員降下訓練、米軍の
即応訓練など2件。なお
この訓練等に関する市民
の方からの苦情は航空機
騒音など。
- ③日米合同委員会合意に
ついては、横田飛行場
における整備用格納庫及び
ユーティリティ（給電）



▲横田基地第374施設中隊有志による公園清掃

の調査。

- ④横田基地人道支援・災
害対応演習。
- ⑤MV-22オスプレイの
飛来については、5月及
び6月に岩国飛行場から
横田基地を経由し、富士
山周辺にある演習場等に
離着陸を行った。この件
については、横田基地周
辺市町基地対策連絡会に
より北関東防衛局に対し
要請を実施。市民からの
苦情等はなかったとのこ
と。
- ⑥横田飛行場へのCV-
22オスプレイの配備報道
等については、5月9日
の新聞紙上に突然配備す
るとの報道が掲載され、
以降、外務省や防衛省か
ら接受国通報された旨の
情報提供。外務省及び防
衛省が5市1町を訪問し、
横田飛行場へのCV-22
オスプレイ配備について
説明があり、それに対し
横田基地周辺市町基地対
策連絡会がコメントを発
表したことなどの報告。

続いて、委員から軍人
軍属などの追加増員の件、
また直前にしか情報提供
がされないことについて
などの質疑があり、理事
者よりさらに速やかな情
報提供を求めていくとの
答弁がありました。

議員一人一人の発言は、
当然ながら尊重されます。
一方で市長は、質問に関
係のない発言や無責任な
答弁、議員への反問はで
きない、という定めもあ
ります。

議会を傍聴した際、ぎ
こちないやり取りに見え
た時は、このようなルー
ルも意識していただく、
見えてくることがあるか
と思います。

議会改革に関する特別
委員会も組まれました。
市民福祉の増進に大いに
役立つ、議会運営心が
けていく決意です。ぜひ
傍聴にお越しください。

編集後記

